藩翰譜

九

淡

和書門
類 二三五五二號
六三函
七架
九冊

内閣文庫
和書
類 二三五五二號
九冊
一五五函
七架

内閣文庫
番號 和 23552
冊數 9 (9)
函號 155 56

国立公文書館
National Archives of Japan

藩翰譜巻之十

高力

抑此家ハ熊谷次郎直実十代の後胤三河国住人高力備中守
重長か曽孫也直実か五代の孫熊谷備中守直鎮か孫に当て是初め
熊谷氏 後に真に領せし 神谷三河国八名郡の境地職を給ひ直鎮ゟ
四代の孫新次郎宗長永享十一年宇根山の城にて討死す其孫左衛門
実清同し国の内額田郡高力の郷を領し子孫高力を称し子左衛門尉重長
今川義元に属して其子備中守重長も高力の城を領しけり高力と名乗
てより後重長か子安祥次郎三郎ゟ始て城を領して後に清康に仕て
此子か家臣天文四年十二月安祥の合戦に住吉山にて討死し次に備中守
清長信長八千人と引合して三河国ゟ取向て同国高橋にて（信長を打本多ハ此事也）

松御ゆるし心まゝに[illegible]して此一族の人を殺して　おのれハ

とめる城主[illegible]御矢射人[illegible]大勢にて八方へ

ハ逃しを定長嫡子新三郎安長ともこれに[illegible]清康の人々と伊田

北郷にて[illegible]定長とも[illegible]討死して

定長の次男新九郎定正[illegible]伊勢の[illegible]

[illegible]前[illegible]の[illegible]永禄三年

信州[illegible]

討死　新三郎長盛の[illegible]九郎[illegible]

事に[illegible]一度の[illegible]永禄八年（一説に七年）三河[illegible]

年[illegible]清忠[illegible]

[illegible]

久能三郎九郎宗能ハ[illegible]久能の城主ハ[illegible]

久能ハ一族[illegible]

[illegible]今川の方へ[illegible]

[illegible]可睡斎の[illegible]ハ宗能[illegible]

信[illegible]宗能[illegible]

元[illegible]永禄の十一年宗能[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]天正九年（一説八年）九月廿三日遠江[illegible]

[illegible]十一年八月[illegible]田中の城[illegible]

[illegible]同十二年[illegible]

和睦[illegible]同十四年[illegible]

て江田のりまかりける山田平左衛門殿と抜かれしとそ　十八年信州へまたうつりしに
て武蔵の岩槻城を賜る或乃石　此年九月来る更に下向ありて
岩槻の城へおもむく清左衛門付まいらせて流る果の帰路の日清
長かまへ子のある村田中村城にあり堀田の旗下にて御納戸役と成
其後清左衛門かかりに年くして実弟の山田某石岡某せ御付
清左衛門好んて近臣の所に八州所にえきへつりける
寺主君いまた若年成人の後禄九百石に御付にて息男上作右衛門正
て三方ヶ原の陣にて討死ありて庭と兼正左衛門生年十五
らに西田の何某は十五にてはしめ此年小山の城と懸る武田四郎うちを
召掲らし下の家臣と申さしるしよ西尾亮西田の母し頭を
討して乗る山田新六右衛門長兵衛の陣に先掛堀九郎の首素取る
さ一族と討死正左衛門一生中にて君前をもつて天正十二年まて

作り内義御成敗請来二千して人出せし田正左衛門の御供
とえ右の者力を次へ平ゟて異世の勇士ともと伝へしと成敗
また中とにしとて此年家左衛門四年三月叙爵して同四月　紫忠
日記に壬二月言　廿二日ゟ十二年ゟとて其後ん並く平左衛門弟共歿
長兵衛の年一回の近習河田清左衛門の供付てゆひける同年十三年
正月廿九日清左衛門七十九歳にて卒し嫡孫左を太夫大夫に従五位下
御大刃小父左衛門正左衛門か辛せし年の五月四日中将右兵衛の御共
台徳院殿元信し御詫を請り　吉江右の御刀を帰とて　明ちハ前左衛門兵右衛門の
の如まし
年おゐての山ゟの御供て家康十年七月叙爵して左を左衛門と乱
り同十四年三月岩槻の城火災にて焼うせし年毎寅の冬の
頃太夫田原村の為請江戸の府と仰ありて屋敷を下されし

此岩槻の城ハ御の出所にてありし所なれハ忠房承と日ニ請て城と
構へ住つゝの出所と作り置を数ヶ年々十二月に至る大田原此城ニ預け
申せし方ハ備へけるに御とて大田原ニ預け置と是を後る
さりけれハ大方かしより江戸の城ニ詰めけれハ大方今ハ
河内守長治と申せしか大番頭を預り奉りて同き十九年の
春大久保相模守忠隣流刑ニなりけれハ忠房宗信の人々とお預りて
向く小田原の城と守らせ此年の冬大坂の軍起り将軍家の先陣ニ
て詰め居けり明る元和元年五月七日の戦ニ首ニ級討て忠房
御前ニて大和守ニ任して大坂の御本意と悦ひ宗め同五年遠江浜松
二万石 五万三千石 を賜ひ其後程経て寛永十一年八月所領の地ニ
不石 同十五年ニ肥前島原の城とつくりける

ミ人彩浪く守りて出居候へとも程なく 後へゆかりありて御旗本の何某ニ
譜代の者ハ何某人なりけれハ其住居につきても所々を預りて同年十二月
方ニ居て今ハ六万石にて忠房とも言ハれ 四万 不石 十八年 泉七十
二まて明暦元年十二月十二日ニ卒去 嫡子大夫を名乗て隆長
三方七 千石 三男九京亮政ハ所ニ在けれハ 三十年二月二男長門守備前守ハ
十五万石とハ寛永八年の二月 隆長卿元和九年八月廿日ニ叙爵ニ ハ寛
矢八年二月廿七日死去ニ 流されし 松平伊豆守
初めより 信の隆光 継ありける 嫡子伊豆守長門守忠次と共に
出羽西講ニ住居せし 二男大膳大夫吉田九郎 信房 豆守 伊
乱人ニ住居せし松代ニ住居せし 隆長 七十二歳にて延宝四年十二月廿日
旅ニ於て死去 隆信弟 何山にて 寺にて葬る
ニてつかしむ吉田の地にて 民ニ

天皇

三郎左衛門尉康家ハ天皇若宮ノ御方ニ参ル 市猿三河守の御方ニ参ル 若宮ハ御母儀大納言殿ハ御母儀ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

織田信長ハ信秀ノ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出一揆の国をあらそうをもって
りんとう寺と称し寺をたてんとせられ
れけるの由を義元聞きつけて
れけるの由を書きとうかの人のんさせ
事はうとせまと新あり味方のん一揆のもとをたてんとせ
揆のもとをたてんとせ
寺をたてんとせられ
なと申ける国侍ども
とり十四年ちかなりてもとり宮地の
ちてしれ侍ひめくまいりたりけ
天文十五年八月二日国侍の城と
ちする方国を受とり
仏子代ちとりの国の為侍人侍のあるこ
ありこ所ありまたをたてんとる国侍の
仕り寄にはの人の侍ありこ
孫四郎殿孫人をして
国侍ども加勢して侍ひの
ことを度ひ三河の
城の色とうちとりこ
屋敷をたてめ
ら
ことをもとめ
ことをいりまして
ことの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

家一ト乱して入てくる越前の富者に行しとみとて大名盛して
形跡と存しく其子の統領者ある福祇あれ心せ其跡の清まして
又其川めでたれ御逃ニ出向くこ者なりこと立なりて出るとくせ
年ニ同ニ落ま上るも将と定てきてこ少将の人々に出させて
是後々識田福隆ほる信義とさかへと今もられてかつて竹千代
と近つまる所やらかて越前の大事あつて我ニ大川まり也蔵
あ発もりして　まあら御侍の人したてあさらにおりつれて年も同国
と又今もちらくいうるれ也ひらうて三郎右衛門彼所へ又其郎らかって
年後の十一万神田御ゆかりとものりし御家へとを客してに至て
御いつかりして忍後に後しれ次ちくおそへつのかちとつし
ま出御の人々一つる日もそれ侍の人数誌に存りてもらん住也

御役人（為）右のま付ていりて　と中まくかしこのゆ其侍りに人く丹後
ともゆもと浅野ととも逝お明かり日より昌寺とよ来りまくて御田
到りても有てくく日十八年十二月六日之後々院けせし大年十一
月義元御代の侍当孫々に許して安祥の城と改藤（佐竹）秀り三男二下
右京信虎と信くし　使川々と元禄く後江にに近へいまかして
康京父は代して其太郎康く君侍これいはる於後二年　二月
後いつか中軍和の付康京父子たてしへ来し中に侍て文禄のれ
康は始かはらしのへ康系将軍侍にいかしれ慕太郎康へ大川
其政ら打陣けて後使にかり使川く御世の宇ちとかもつ
うつより　大河内之地より　なる領は好依の前と弥に小
田原陣にてゐまゐて康京之ゆかり　好御まていうとの見せま三河の

おくられ事に属し時永禄八年二月七日嫁くまゝ縁と

なる康京力なく右府信長に仰られ[illegible]村重殿と二人同く

に職に任せる　時[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

手天下[illegible]

天正三年三月十七日[illegible]康京[illegible]

[illegible]十[illegible]の[illegible]康京[illegible]目[illegible]

[illegible]此[illegible]の二十[illegible]尚[illegible]の[illegible]て

いまふ人とる集めんして[illegible]の[illegible]也[illegible]

けれ[illegible]

百穀の[illegible]今年の[illegible]の[illegible]

利あしうれ永く一の[illegible]

しれ八十て[illegible]国[illegible]内[illegible]

[illegible]

京[illegible]古年の[illegible]の城を[illegible]一方[illegible]

[illegible]同さ十二年三月の[illegible]康京[illegible]の城を[illegible]て

逐電[illegible]康京[illegible]竹木城を

[illegible]萩[illegible]の為に[illegible]の[illegible]

て[illegible]此[illegible]人[illegible]の[illegible]と

かひやうして[illegible]尚[illegible]て

乃と様く切てせる道人ぞ最はく近き此道へ同事也有
写ま事に中や用と云ふ事の百姓とも作る此国庭等ゝ
若一人をおして其の代を升出とゆふうゝまて唐高ゝ足
将のさる口論に及ぶ者にし鬼く少傷せしれねともま
升出也しとゆへく唐高もとに次きて此将のゆへてゝ
若と迄は詳しくて云う深き御将して彼方ゟ人へと既有
給へ一とりゝ唐高御女に而也かう祈道代と都ての深
之古今の定家や御附加へ此道人也かるゝる小色わく
唐高ゝ当代云ゝ御身のかる御身一人ともに作る人ゝとく
我と深やとこうゝゝ及傷の為にほゝ命のこゝかる
まく彼道代の身ゝ時唐高ゝ云ゝてゝ将の百姓をし智をさ

望への両原の御しへてはや今の道と御らんてはこ心と神ゝある
事とほさしんや御道代時日御家わく竹本と定ゝ依て
唐京命して申しこゝる事かれ子ん時迄補さしゝゝる
取也ゝちゝゝゝ叶ゝへしさしん身の執傷ゝ乃くへての句
論也さらに彼云道人と西傷しゝゝとしゝて唐京へ
命とよく御らに今御と下手へてしてしゝゝへつゝゝ
ようゝて也其をこゝし二月廿四日屋敷ゟ後は
将りとりへ時御将御らる武三条の亭ゝ不如理く東河と
なく唐高ゝ足将の若と口論の文書に西傷やは詫ぬ代
まで唐京ゝゝゝ也ゝゝゝまへとゝらし此の也すある
将道と称ゆゝる誠ゝの裁許と仰ゝゝへと誰へ出とほかるゝ

ましに若年よりかの行ける法五六ヶ所をも近はしるゐ
と切り非法のよし様にて由唐の御かゝりをもつて咲くゝ文
雕并吉と合せしむるに一人の関語と様にて人の抑宣様
大仰の康宗抑と渉る人ときふものあそかいゐるまうゐ
よめいつぐろうる事と思ふこり此の親明ゐるまて云信下
まう相成上體分百施中の陸と取て唐帝へも文とり以彼
五民るの事をそなを公の民也物のゐる都の人々たまへ歎ふくり
き而りのゝ極まりてん事都のかゝる都の歎きたまへて公の感と
払まつる時にけり十ちの人どもまかせゐくて都をもかくの中にとう身く
康宗恵をまけて関白をも深く御ぶる悲懐に別しなく康宗ゐる
至筆様の勢ゑるゐてもし尤も義を何とゐるて仕ゑぬく

彩らうちもぢをろし御の義なるて宝ひるんすまに高派する義うくら
引ん至るいくそかひの渋にとを実とるよりと云切そ様の味をなくんぞ
くるをつくらむにてみるこみ至と公の義を実され下ちしをちの其を傳
す一人の義あきると敢うれし迫而公の称とすゝる
身と居とせをしして道らうち恋と行しかの義どを直くしを世へまし
行まゐるべ覚へるゆり

菅沼

織部正源定盈ハ元ハ美濃源氏土岐ノ流レにて在々室町の御代

の初め新二郎某（後々信濃守）始めて三河国設楽郡菅沼の地を領せしより

菅沼の作人と云ふ [illegible]

[illegible]

持こ形田の城に移して大河に属さ永禄の頃まて上杉氏より
徳川家と申通し南奥の使へ徳川家の属首とするもの也
三河文徳川家に従ひ氏真にも見限りて
て形田の城を築き三河守方より引付けて一方に構へて
高天神の城に氏真より小笠原の与八郎して城を守る定成る
武田勝頼して攻取り同年高天神の城へ来攻徳川家の後巻
まいらせまじきとて任せけんとて終に城を渡す家康深く悔しむ
同十一年の冬より五十余年荊都田の城と
多く人の衆の籠もりて所々城の
遠江国中の城をは悉く攻取られて十二月廿二日
十二月十三日武田信玄三河の山家と押しよせ遠江の掛川の城を攻落し
掛川より掛川と攻寄せて入部せさし

むかし井伊谷の境城より此所迄続て禄都の城と
ゆゑして、ゆゑに後ほと久しくなりて
元亀元年の頃徳川氏
今鋳より形田の城ゟ高天神　同三年十月甲斐の武田大膳大夫
入道信玄は三河へ中遠して遠江国へ発向し二俣の城と
攻落し東三河の山家より鬼の心を尽して定く武田か
定而同清沢大居寺へ計らひ日坂の宿を過きて掛川の
山家より形田の城を攻撃す　十二月二十二日三方ヶ原の合
戦に武田大に勝ちし刑部に陣取りて明年天正元年五月廿一日
形田の城を押へとして徳川家を引きさへ三河を攻に
与へ（イニ作二）大正五
軍兵四百人より余り此城を守る
帰参して入りて後は地を守る事の水の如く

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

北條　稙島

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]七月十日[illegible]の初年に氏康上杉[illegible]落城[illegible]切て入[illegible]
四[illegible]者[illegible]の一方[illegible]人[illegible]
[illegible]氏康の八[illegible]
[illegible]と[illegible]百[illegible]人[illegible]て迫[illegible]氏康[illegible]
[illegible]山[illegible]門[illegible]
[illegible]て氏[illegible]
[illegible]て氏康[illegible]山の[illegible]入[illegible]
[illegible]と[illegible]
[illegible]十[illegible]
[illegible]十[illegible]
[illegible]上[illegible]
[illegible]軍[illegible]
[illegible]七月十[illegible]
[illegible]十[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

此後[illegible]の[illegible]甘縄の城を[illegible]

[illegible]氏[illegible]成[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]大岡関兵衛に向ひ[illegible]付た[illegible]氏政[illegible]
[illegible]相[illegible]氏[illegible]
[illegible]山中の城[illegible]三月廿四日[illegible]
[illegible]城中[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]十八人[illegible]
[illegible]
[illegible]氏政[illegible]
[illegible]山中の城[illegible]
[illegible]氏[illegible]一人[illegible]武[illegible]
[illegible]氏[illegible]

[illegible]城[illegible]
[illegible]氏[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]氏[illegible]
[illegible]
[illegible]氏[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

上ハ伊勢ハ[illegible]
に[illegible]四月廿日[illegible]
[illegible]
[illegible]
う[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

[illegible]二男[illegible]を[illegible]
高天之山[illegible]
[illegible]甲賀[illegible]
[illegible]
[illegible]

てもいまの城と申て門ばかり永禄年中まで城
もあり其方備前守殿へ[illegible]
してき百姓ばかりて又赤名の城へ押寄申の由にて敵
見方と渡へとろ　（門徒衆石山衆）　協議されて当城を攻戸ば
城へ向ひ相寄て渡る雄利る城と
亀山の城へ向へ昼夜下知ある程も降参で
今ろて城まて七十月ろ伏人の城をまわりて
入ろ[illegible]と成[illegible]
大門不入ろて伏人の家へ渡ろ[illegible]
者ろ利ろ京へ生まへ人衆ろ[illegible]
古屋ろ此地と物へ[illegible]　（石）一万
石　時の大年十二月ろ入ろ

六十二才にて卒ろ利ろ京へ
京へ[illegible]
と[illegible]
城の[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

皆川

山城守廣照の子孫小山下野大掾政光の嫡男
下野守小山小四郎高朝廣照の子孫
[illegible]宗の孫[illegible]の人々
宗成初名[illegible]
の[illegible]
[illegible]山城守廣照[illegible]
[illegible]
の[illegible]
[illegible]
[illegible]

出行いたし候ての上陸致候ハ[illegible]
此年より秋山左衛門尉殿本領[illegible]
三万石 [illegible]の軍一門[illegible]
多の内[illegible]
上洛仕候て[illegible]
秋山の城を[illegible]
仕候の内[illegible]
国[illegible]十四年九月廿五日[illegible]山田[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

酒井

山城守殿京都所司代ニ被成候ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

藩翰譜巻之十二之上

蒲生

侍従氏郷飛騨守氏郷の男父子共に府
[illegible]年秀行は氏郷の後嗣飛騨守
[illegible]代の後嗣飛騨守
[illegible]
[illegible]
[illegible]

秀吉の伯父にて[illegible]刑部少輔秀次記
イニ孔下同 [illegible]
[illegible]郷の男[illegible]
[illegible]氏郷は父せうに初関白秀吉
[illegible]
関白[illegible]の城[illegible]
[illegible]氏郷[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

初冬白河之陣の後 昔為石橋山の後 織信長 [illegible]
後の氏郷 [illegible] 関東の陣 [illegible] 織信長 [illegible] 十九年の
夏 [illegible] 九月 [illegible] 氏郷 [illegible] 討 [illegible]
氏郷 [illegible] 九月の頃 [illegible] 去年 [illegible] 恵仰
[illegible] 奥州 [illegible] 陸奥国 [illegible] 伊達信夫
郡 [illegible] 出羽 [illegible] 此年十二月二十八日 [illegible] 斎藤信[illegible]
[illegible] 文禄元年の夏 [illegible] 氏郷 [illegible] 二月の
血 [illegible] 二月の [illegible] 二月 [illegible] 十日 大岡氏郷の [illegible]
三年正月 [illegible] 上洛 [illegible] 十日 大岡氏郷の [illegible]

[illegible] 氏郷 [illegible] 日 [illegible] 月 [illegible] 文禄四年二月七日 [illegible] 四十余 [illegible]
[illegible] 氏郷 [illegible] 二月 [illegible] 山九
[illegible] 百九十九 [illegible] 九月 [illegible] 備三國 [illegible] 氏郷 [illegible]
[illegible] 七日 [illegible] 一人 [illegible] 二人 [illegible] 世 [illegible]
[illegible] 二人 [illegible] 嘉 [illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]十七年七月十[illegible]
三十歳にて世を[illegible]
てあと[illegible]
[illegible]九十歳
[illegible]
[illegible]
[illegible]

金語

中納言藤原秀衡小男川九郎冠者大江陸奥守[illegible]世[illegible]陸奥
[illegible]七[illegible]酒[illegible]
任二[illegible]陸奥守[illegible]諏訪小太郎[illegible]大閤
[illegible]小屋の四郎[illegible]初小屋[illegible]
[illegible]四郎[illegible]知[illegible]大閤の[illegible]
四郎[illegible]陸奥[illegible]天正十九年[illegible]陸奥[illegible]
[illegible]陸奥[illegible]人[illegible]
[illegible]陸奥の[illegible]和[illegible]
[illegible]内[illegible]田[illegible]生[illegible]
[illegible]二人[illegible]
[illegible]世[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]十六万三千人、七月廿三日太閤
伊賀に御陣、谷山城へ入候、八月廿日
[illegible]、秀秋[illegible]
[illegible]一万五千二百三十八、太閤[illegible]
[illegible]伏見城へ[illegible]太閤軍[illegible]
[illegible]三成[illegible]
[illegible]
のうち谷山城と[illegible]
事の[illegible]
谷山城と[illegible]
[illegible]

[illegible]太閤[illegible]
[illegible]秀秋の[illegible]
[illegible]九十[illegible]
[illegible]四月[illegible]
[illegible]七人の[illegible]
[illegible]
[illegible]大閤[illegible]
[illegible]秀秋の[illegible]
[illegible]太閤いや[illegible]
[illegible]秀
秋[illegible]
秋[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

早く兵前也と呼一刻して親おけ[illegible]

中納言[illegible]秀秋方に出奔ハまん[illegible]

命ぜん[illegible]

[illegible]

[illegible]

此上ハ内府[illegible]

と申すまてもなく中[illegible]

只[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]の行列とて[illegible]を加へ[illegible]徒川[illegible]
[illegible]年四歳[illegible]を行[illegible]利家様[illegible]徒川[illegible]
八月太閤[illegible]右[illegible]
毎日[illegible]秀秋の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
初の[illegible]徒川[illegible]
太閤[illegible]内府の[illegible]
[illegible]秀秋の[illegible]
[illegible]秋広の[illegible]
[illegible]秀秋[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

秀秋伝門多の書忠と伝せんら沙門ゆとなしれ
今見来下右大臣つ大文延信補摩小姫の塚たてこと
て赤山村四郎の塚と伝へしまし山の内
お入谷と伝へ沙門ゆ七世と呼ばるに今見延信
伝へて塚と伝へと秀秋大ら見て延信と申名して
大塚と申ものあり政所の四方まで秀秋
小門府の四方伝へ見ゆ政所申て
大塚の右伝へ塚伝へ中の和ら見の事お元信
名ものあり七尾と申せ本下れ内府の右と伝塚伝へ和
ほ世人の事伝へらるる
見と大塚の右と伝へ伝塚伝へ塚伝へ
見者伝へ事せんの伝へ中世せんかりこと

赤国の塚も伝へ伝へ塚伝へ
言て事記へ伝へ伝へ
伝へ塚と申る秀秋伝へ伝へ塚の今赤山の塚
きたて鎮門府と伝へ事出て伝へ塚鎮
ふ世と伝へ事右大臣元右大臣の塚と又内
府の塚と申へ人と申る山塚伝へ
いへ人へへへ伝へ中山の事
塚上へ門へ伝へ中の出の右と見ふ
中へへへへ元右の事一人見ふて
かくと中と伊右田海右と言秀秋力伝へ家人平右
部へ伝へ伝へ
へて、王国甲斐国平見如水入谷事伝へと

中て[illegible]
野の[illegible]
[illegible]
[illegible]

福島

[illegible]

[illegible] 天正六年福島左近三[illegible]

[illegible] 正刈生年十八歳初る高倉[illegible]

[illegible]

不次の[illegible]

[illegible] 小牧新[illegible]

[illegible]

十五年[illegible]

十六年[illegible]

十八年[illegible]

[illegible]
七月実田秀政の事有り[illegible]
[illegible]田等の氏と申す[illegible]
[illegible]
西刻の婚男利[illegible]
大[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

四年後の八月[illegible]
[illegible]三郎[illegible]
[illegible]人の知[illegible]
[illegible]
一人[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

門義弘[illegible]
[illegible]
陸奥国[illegible]
伊達[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

多くい此行を始め法利日に[illegible]
京利[illegible]に陸行の場所の大の不動利
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

十日[illegible]
[illegible]
[illegible]

三年六月高師直[illegible]
[illegible]
[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
一方
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

藩翰譜巻之十二上

加藤

肥後守茂原清正初の名は虎之介生れ尾張の人豊臣大閤の小姓
[illegible]
天正元年九月古月周防国鳥取の城の城主となる
[illegible]
十年三月内中出冠城[illegible]
[illegible]の今御[illegible]光と国十一年正月熊山の城[illegible]

江戸ハ五月志ばら[illegible]
十五年の秋秀吉の[illegible]
[illegible]
[illegible]人ら
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

同き三年八月大閤薨ぜ
此年十月ニ至て今参の宮殿清西寺の大名一つゝ
と切腹ありて御新儀仕置中ニ付ものゝ
[illegible]に
[illegible]三成儀[illegible]
同き四年秋佐竹義宣の中納言家康を討ん[illegible]
[illegible]清西寺
[illegible]四方仕
[illegible]
[illegible]
八月十二[illegible]

行[illegible]と戦さ[illegible]清西此ゆ[illegible]
せ[illegible]清西妙山寺[illegible]
[illegible]上方の軍[illegible]
急き[illegible]
[illegible]
[illegible]清西[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]めと仕男[illegible]と仰かるる[illegible]正年七十一
[illegible]して此年六月廿四日[illegible]辛[illegible]子息[illegible]
なりしかば[illegible]を[illegible]る[illegible]
[illegible]て[illegible]と[illegible]
[illegible]
[illegible]

家上

四代目義光ハ陸奥守兼武家の三男豆州武平太補
義忠の孫上総介義業に古代伊勢守家業次男佐竹太郎
義光ハ陸奥守兼新羅三郎と称して甲斐の按察使
補せられ延文元年八月六日死去ス子孫南北の事と可考十代の孫義光ハ義元十六才にて
父義業に従ひ奥州合戦に出陣し後冷泉帝の御代
陸奥十人衆ハ義光ハ部将なり陸奥十人衆
義光ハ義光ハ一人と門徒ハ指揮ス
如京遮那王義経ハ義朝の子義光ハ義朝の
義光と謂ふ故に義朝の十七才の内邪ヲ口の合戦に

父義定ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]七月十二日の秋大性[illegible]

[illegible]大名[illegible]太閤の

[illegible]所に流集まる為光一人[illegible]部[illegible]引[illegible]

て徒[illegible]の[illegible]行く流[illegible]

[illegible]人の[illegible]

[illegible]為光[illegible]

[illegible]心[illegible]

[illegible]程[illegible]太閤

[illegible]為光[illegible]

[illegible]為光[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
年正月十八日六十九歳にて京にて死去男駿河守親房と称す
[illegible]
元和三年三月十三日三十六才にて
家を継ぐ京人[illegible]和泉守忠親卿
正月を迎ひ[illegible]
一万石[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

堀尾

[illegible]

山田彦作[illegible]の[illegible]人中[illegible]吉[illegible]男や吉[illegible]四人三十六人[illegible]

[illegible]年の[illegible]は[illegible]光[illegible]仁三九生年十六[illegible]

[illegible]首一つ[illegible]人[illegible]

[illegible]日完全の[illegible]

[illegible]仁三九[illegible]人[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

天下の政事をゆるしたまふ　文祿二年天下の政事をゆるしたまふ
いまより後赤き黒ぬりの内八人のたち
かつぎさせ給ひ　秀吉毛利輝元
半ばにて御ゆるし給ひ　小川祐忠
しきりとなりて　大閤薨
内大臣　大納言　中納言　参議
この人々　大臣　大納言　中納言
清華の人々　内大臣　大納言　中納言
大閤薨　慶長三年の七月三人の中老御とうしめしの方法
御ゆるしなされ　秀頼
まわる白人のたるよりの御　天下の政事
秀頼　中納言　三人の御
大閤薨　大納言
かくて三人の人々　大閤の
御ゆるしなされ　今も世をゆるしたまふ

世をゆるしたまふ　大閤薨
毛利　大納言　中納言
大閤の御心は中に平安の御
内大臣　内大臣　内大臣
世をゆるしたまふ　世をゆるしたまふ
世をゆるしたまふ　世をゆるしたまふ
世をゆるしたまふ　世をゆるしたまふ

[illegible]年二月[illegible]
[illegible]の[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立公文書館
National Archives of Japan

田中

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

中村

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月十六日付にて申上候通り横田内膳家来と称し
[illegible]
[illegible]一氏宅へ参り候ハヽ小生ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

筒井

伊賀の筒井定次の大和の守護筒井藤勝城に移るや
初度仁の試の任織田信長に試され
寺門の[illegible]者坊の[illegible]ハ[illegible]元年[illegible]高山[illegible]名と[illegible]
[illegible]筒井和尚寺[illegible]署長の[illegible]
[illegible]と大和の四郡[illegible]
[illegible]
[illegible]

川の城をとりかこみ攻めたてられ、[illegible]
元亀三年八月信玄の城なる駿府を
[illegible]五百人ばかり一族家臣多くうしなひ
駿府城四方をかこまれ此年三月駿府城又ハ
[illegible]人をうしなひ信長多つよの城にたてこもる
[illegible]つ作を固めなほ多つ城をきづき
[illegible]織田方より信長[illegible]
[illegible]ハ尾州[illegible]又[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

里見

安房守源義康の次男義成の三男義実の弟義明の
婿男新田大炊助義重の二男里人左衛門尉俊十代孫
義宗の次男和義の次男刑部少輔家基信濃守太郎氏
とて右馬頭の持氏子春王安王丸人の為とて
城の内に高屋敷を構へて三浦介の勢を
以て攻寄せ永享十年四月落城
に成る大学助と共に三浦介
城内に自害して小田原に
て二十一歳内房の信濃守
沼隈の地を領して国府の
城に住人安房と称して山下と言ふ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日さとまの大小法たゑ氏綱と修羅の戦ひ第四段
ゆけて対馬たまに為義と和ら戦ひに敗なりて逃て
帝に小法と敵対す山名的なる法の出とて行き
武義小法の地をうしと小法と（高岳七年修羅法の観音堂第老耳皇）
九鬼左馬助義忠小法と入合て西五位に陣し
陣を為義の城と義朝と対す（天正二年六月廿日六十三才にて卒す）
左馬頭義朝と小法と戦ひ三浦の地を相模と
小法と敵対す（城を攻る）永福寺に手勢を敵方に入
左馬頭義朝と小法と四度に戦ひて日本左衛門尉
為義一日に七度に戦ひて武義心男義朝の住人
相模国三浦義明と小法と戦ひて小法氏屋氏敗走す

和田の方に小法と対す（味方多く敗れ逃る軍
に対する大将十七人うち討死す）門返て第五段
為義は足ちに逃る推陳（雄ら）の所に陣を取る
為義に敗て引（退）く第五段に手負て味方四人
味方百騎に上総の国
一番田四郎に高刀治田野に六十騎引具して
久留里の城に入討ちに来る
と戦ひ大将に小法と敵対す来て今人数の城陣を敵
国に敗ひ第六段に今年に上総の和田の城陣
に為義人今年に上総に対す和田の城陣
小法と戦ひ武義の地を日さとまに敗

行家ら（行光・行綱）と大物浦にて三艘は残り船出十人
小除右日記に軍兵五十人ばかりなり三
郎山の陣に大物右日を押寄せて攻戦天正七
年義弘少除手中に帰して明る方の月弘幸と婚
子右京亮義弘の娘二男相主丸と諸る右京
亮義又兵衛尉後上総介信雄の城と称して相主丸を屋敷
とし上総介義弘と共に伊勢の城に住む上総介義弘
伊勢の城に住む天正九年夏小除又二郎氏政と家康
二男氏政あり父義弘に入れ山城の城と称
椎津城に富田の城に軍兵をもって攻いく
攻めて義弘と家康

方天正十六年小除家康に対面
上総介をみ
除人あり小除入人と
て加藤と行う此城家康の西宮の城に向
除家を攻め城中に小高き山し
弟屋敷に制して弟の屋敷と也あり
入る事と思て十八年の春に関白小除
家康に大小除手分仕て京河内山城
攻かりし小除家康に
門を人と一所と弟屋敷
を計あり七年小除家
を家康に対面白石屋敷の
家康と紙の上絵の城攻させ小除家康あり

[illegible]（二十万二千石）[illegible]
[illegible]
[illegible]

生駒

[illegible]

[illegible]

天正十二年の夏伊勢国神戸の城主織田
[illegible]
十三年の夏四国の地平らぎ雑賀根来の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

寺津

志摩守紀摩守[初名大三郎一名西國]武門大内の後記滅ぼす末孫也初國
ゆゑ子孫安藤氏なり代々[illegible]屋敷也[illegible]
の寺沢[illegible]流[illegible]
中古唐西國[illegible]
高[illegible]とおらし[illegible]
一説三万五三[illegible]三万[illegible]
代々西條の城名[illegible]
[illegible]
城[illegible]大内一代[illegible]寺沢[illegible]
[illegible]
城[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
七年大内義[illegible]

後醍醐帝とうらみ奉る城郭を拵へ籠り給ひ
ける行幸の行幸にて寄せ給ひ六年の秋五月の
軍一門の郎党高言神ちわ信けるに法ひまいと五月
九日に八幡方の人と海信と打て屋敷の方に討入
る郎党共に紀伊国天竺の郎と名乗て大将の軍
なりしに北方の城を再び軍おこりて乃て結局の
八月十九日に完永三年八月十九日に信ち飯
田き十年四月十日に橋子武蔵守代先三
年に八幡二男与兵衛尉重弘竪石と戦ひ十四年紀伊国
峰寺の西信天竺の彩氏今と共に戦おこり退治とする時
北方に攻戦ひ十七年の二月今の城藤十郎の弟人
四郎男子の信人に討死して天竺の地以
せり　大四郎の子に四郎の男子の信人
年に中ちんに自害して死る小人家臣の
男子に自害し年月まで三郎の
大名の名を攻て城と

国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan